



STANDARD RESPONSE PROTOCOL

保護者の皆様へのご案内

当校では、「アイ・ラブ・ユー・ガイズ (I Love U Guys)」財団の標準対応プロトコル (SRP) を採用しています。生徒および職員は、本プロトコルの訓練、実践、並びに訓練演習を実施します。

共通言語

標準対応プロトコル (SRP) は、個別のシナリオではなく、あらゆる危機に対応する包括的なアプローチに基づいています。インシデントコマンドシステム (ICS) と同様に、標準対応プロトコル (SRP) は明確で共通の言語を使用しながら、柔軟な運用を可能にしています。

基本的な考え方はシンプルで、緊急時に実施できる具体的な5つの行動が定められています。これらを伝達する際、行動には「専門用語」のラベルが付けられ、その後「指示」が続きます。行動の実行は、生徒、職員、教員、および第一応答者を含む積極的な参加者によって行われます。SRPは以下の行動に基づいています。待機、安全確保、封鎖、避難、避難所確保。



待機

「教室またはエリア内で待機する」

生徒は以下の訓練を受けます。

- 廊下を速やかに移動し、自身のいるエリア

または教室内に留まり、「全解除」が通知されるまで待機すること。

- 通常どおりの活動を行うこと。

教職員は以下の訓練を受けます。

- 扉を閉めて施錠すること。
- 生徒および教職員の所在を確認すること。
- 通常どおりの活動を行うこと。



安全確保

「屋内に入り、外部の扉を施錠する」

生徒は以下の訓練を受けます。

- 建物内に入ること。

- 通常どおりの活動を行うこと。

教職員は以下の訓練を受けます。

- 全員を屋内に避難させること。
- 外部の扉を施錠すること。
- 状況認識を高めること。
- 生徒および教職員の所在を確認すること。
- 通常どおりの活動を行うこと。



封鎖

「施錠、消灯、視界から外れる」

生徒は以下の訓練を受けます。

- 視界に入らない場所に移動すること。

- 静かにすること
- 扉を開けないこと。

教職員は以下の訓練を受けます。

- 可能であれば廊下にいる生徒を教室に戻すこと。
- 教室の扉を施錠すること。
- 照明を消すこと。
- 視界に入らない場所に移動すること。
- 静かにすること
- 扉を開けないこと。
- 回避または防御の準備をすること。



避難

「指定された場所へ」

生徒は以下の訓練を受けます。

- 必要に応じて荷物を置いていくこと。
- 可能であれば携帯電話を持参すること。

- 指示に従うこと。

教職員は以下の訓練を受けます。

- 出席簿と非常持出袋を持参すること (ただし、避難理由により持ち出し禁止の指示がある場合を除く)。
- 生徒を避難先まで誘導すること。
- 生徒および教職員の所在を確認すること。
- レッドカード/グリーンカード方式を用いて負傷者や問題を報告すること。



避難所確保

「災害状況と安全確保の方策を伝える」

災害には以下が含まれる場合があります。

- 竜巻

- 有害物質事故
- 地震
- 津波

安全確保の方策には以下が含まれる場合があります。

- 避難所エリアへ移動する
- 部屋を施錠する
- 伏せる、覆う、しっかり支える
- 高台へ移動する

生徒は以下の訓練を受けます。

- 適切な災害対応および安全確保の方策を把握すること

教職員は以下の訓練を受けます。

- 適切な災害対応および安全確保の方策を把握すること
- 生徒および教職員の所在を確認すること
- レッドカード/グリーンカード方式を用いて負傷者や問題を報告すること。



STANDARD RESPONSE PROTOCOL

保護者の皆様へのガイダンス

実際の緊急事態が発生した場合、保護者の皆様はご自身の役割について不明な点が出てくる可能性があります。



待機

「屋内に入り、外部の扉を施錠する」

「安全確保」は、建物外部に危険が存在する場合に発令されます。生徒と職員は建物内に避難させられ、外部の扉が施錠されます。学校は、出入口の扉や付近の窓に「建物は安全確保中」の掲示物を掲示する場合があります。建物内では、通常どおりの活動が行われます。

安全確保中の事態に保護者は学校に来るべきですか？

いいえ。安全確保の対応中は、授業を通常どおり行うよう最大限努めています。また、安全確保の対応中は、保護者に建物外で待機するようお願いする場合があります。

保護者が生徒を迎えに行く必要がある場合はどうすればよいですか？

状況によっては、生徒を引き渡すことが安全でない場合があります。状況が進展するにつれて、安全確保が「監視付きの登校/下校」または「制限付きの引き渡し」に移行する場合があります。

学校が「安全確保」の状態になった際、保護者に通知されますか？

安全確保の対応が短時間であったり、校庭に野生動物が出現するような非暴力的な危険の場合には、安全確保中に保護者へ通知する必要がない場合もあります。

より長時間または危険度の高い事態の場合、学校は保護者に対し、警備体制を強化した旨を通知します。



封鎖

「施錠、消灯、視界から外れる」

封鎖は、建物内に危険が存在する場合に発令されます。生徒および職員は、施錠可能な部屋に入る、または留まり、静かにするよう訓練を受けています。

封鎖は、建物内またはその直近に明確な脅威が存在する場合にのみ実施されます。

封鎖中に保護者は学校に来るべきですか？

封鎖中、保護者の皆様が学校に向かうことは自然な反応です。そのような行動は理解できますが、問題を引き起こしてしまう可能性があります。建物内に危険がある場合は、警察などの関係機関が対応します。保護者が建物やキャンパスへの立ち入りを許可されることは、ほとんどありません。すでに学校内にいる保護者の皆様には、封鎖の指示が出されます。

保護者は生徒にメッセージを送るべきですか？

学校は、封鎖中における保護者と生徒の間のコミュニケーションの重要性を認識しています。ただし、封鎖の初期段階では、生徒が保護者にメッセージを送ることが安全でない場合があることを保護者の皆様はご理解ください。状況が解決するにつれて、生徒は定期的に保護者に状況を報告するよう求められる場合があります。

場合によっては、生徒が避難し、保護者との再会のために校外へ輸送されることがあります。

予告なしの避難訓練についてはどうですか？

学校は予告なしの避難訓練を実施することがありますが、それが訓練であることを事前に知らせずに実施することは絶対に避けるべきです。それは「抜き打ち訓練」と呼ばれ、不必要な不安やストレスを引き起こす可能性があります。

保護者の皆様は、学校が初回のアナウンスで必ず訓練であることを生徒に通知することを認識しておいてください。

訓練と演習の違いを明確にすることが重要です。訓練は、実践した行動に関連する「マッスルメモリー」を作り出すために使用されます。イベントのシミュレーションではなく、これは単純に行動を実行しているだけです。演習は実際の事象をシミュレーションし、職員や機器の能力をテストするものです。

保護者は訓練を観察したり、参加したりできますか？

学校は、訓練を観察または実際にご参加を希望される保護者を歓迎します。

